

熟したまちの育て方

How to Grow a Mature Town

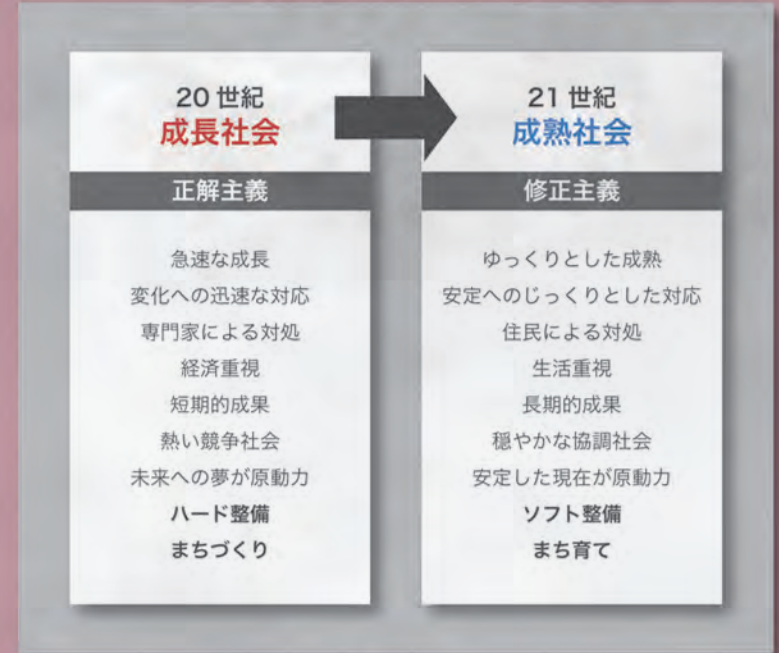
まちはリンゴのようだ。
ある時期まで成長を続け、その後は、形が大きくなるだけでなく、甘くなっていく。
近年のまちづくりでは、まち(リンゴ)を大きくすることに力を注いできた。
そのため、気がつくどリンゴの中身はスカスカになってしまった。
今こそ、その育て方を根本から転換するべきではないだろうか。

I 成長社会から成熟社会へのシフト

熟したまちは、成熟社会を受け止めるための器のことである。

我が国は、高度経済成長を経て安定成長期を迎え、生活、経済、都市インフラ、行政サービスなどが一定の水準に達し、全体としては豊かな社会になった。この頃から「量から質へ」の考え方が広がり、成熟社会への兆しが芽生えたと見える。その後、バブル経済崩壊後の長い低成長期が現在にまで至り、成熟社会という認識が共有されるようになってきた。そのため、まちづくり自体も転換しなければならない時代に差し掛かっている。

図1 パラダイム・シフトによって変わったこと

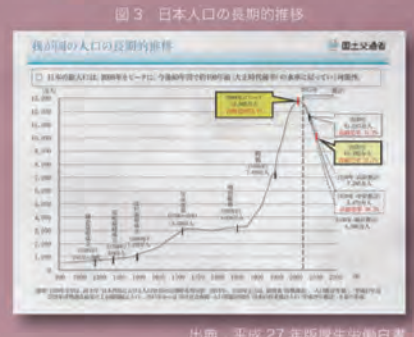
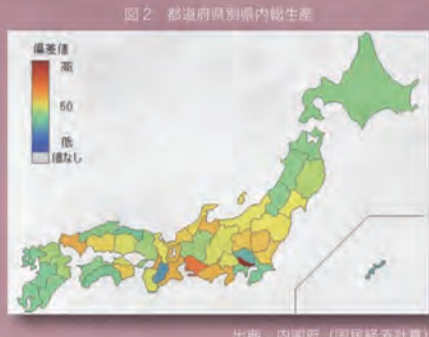


II 地方都市の衰退

地方都市の現状は深刻であるが、なかなか解消されていない。

今後、新しい成熟社会に合わせたまち育てを行っている上で無視できないことがある。それは、人口の減少、国民の高齢化、経済力の衰退、大都市への一極集中などである。これらは、主に地方都市に大きなダメージを与えており、これまで急ごしらえでつくった大規模な建物を改修はおろか維持すらままならない状態になっているまちが平気で存在している。文化財に登録されているような古き良きまちすらもいつ無くなってもおかしくない状態だ。持続可能なまちづくりを進めていくためにも、解決が急がれている。

今後、一定向き合うべき課題だ



大都市と地方都市の格差は大きい

III まちづくりの担い手

まちづくりの担い手は誰?

そもそも、公共とは何なのだろうか。我々はやや勘違いしているかも知れない。公共 = 行政といった単純な解釈をしている人々はかなり多い。役所に勤めるから公務員と、多くの人が思っている。だから時々教えてあげなければならない。「みんなのために働く人を公務員と言わないよ」と。もとより、公共とは権力や行政を指すものではない。英語で用いられる Public は、一般大衆(みんな)を指すはずである。溝口雄三著「一語の辞典 公私」には、このような文章が表されている。

「公は平分なり、八ムに従う。八は猪背くなり。韓非曰く、ムに背くを公と為す。」

「公」と「私」は対立語ではないという事実。どちらも「ム」から始まっているのである。我が国は、これを「おおよけ」あるいは「きみ」と発音するようになった。言わずと知れた、「きみ」は天皇(おおきみ)であり、「やけ」は屯倉(みやけ)である。そこからこれまでずっと権力を示す言葉に「公」は用いられてきたのである。その本によれば、中国においては、「公」の共同性は、民の「私」や「欲」の集積として存在するという認識があるという。言ってみれば、つながりの公である。「私」が響きながら、関係性の広がりにして「公」が構築されていく。そのような「私」からほとぼる公共性こそが「参加」ではないのだろうか。



成熟社会では、まちのユーザーである私たちが主体的に動かないと望ましいまちづくりが実現されない。

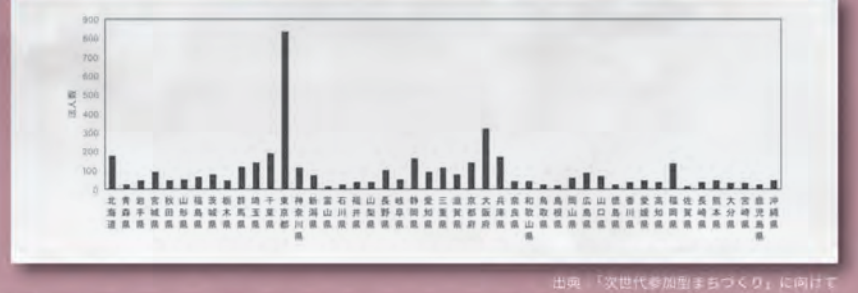
持続可能な地域づくりを進めていくためのキーは、「私たち」が握っている。

IV 「私たち」によるまちづくり

もはや、まちづくりに正解はないのだ。

地域によって参加を取り巻く状況や熱意には差があることに常に留意しなければならない。すなわち、人材等の地域資源、多様な価値観の存在を背景とした参加の必然性等状況の差があることや、現状では、地方においては参加する住民が少なく、結局行政に頼りがちであるとの指摘もあるところである。地方分権の時代において、まちづくりを進めていく過程で具体的に住民参加をどう位置付け、どう実施していくかについては、これからは、自治体の自主性・自律性に委ねられる部分がより大きくなることと考えられ、地域の事情を踏まえて改善を図っていくことが必要である。

図4 都道府県別の「まちづくりの推進を図る活動」を活動分野に集約している認定NPO法人数

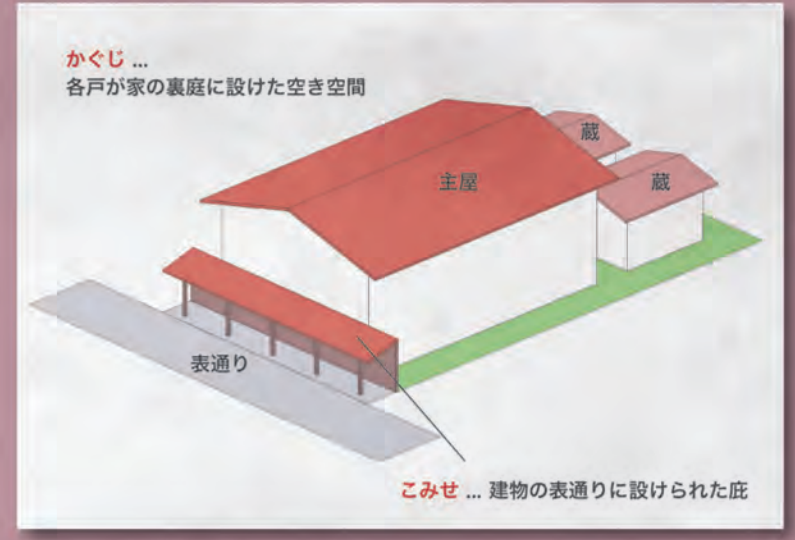


出典 「次世代参加型まちづくり」に向けて

V 黒石のまちの特徴

黒石には、街育でのヒントがある。

1. 「こみせ」と「かくじ」
日本の都市を調査すると、公を私の集積でつくり出している青森県黒石市を発見した。この地域には雨や雪から人々の往来を守る「こみせ」と「かくじ」と呼ばれる裏庭のような空間が古くから存在する。いずれも雪というこの地域特有の自然環境から生まれたものである。近年は、こみせ通りを含む周辺の建物からは軒下空間が無くなりつつある。



2. 気配をつなぐ空間

「こみせ」や「かくじ」を用いた黒石の伝統的暮らしは、現代の都市では体験できない様々なアクティビティを誘発する。見えなくても聞こえる、行けないけど見える、見えないけどいい匂いがする、といった気配をつなぐ空間は、住民同士の繋がりを厚くし、コミュニティ形成の助けをする役割を持つ。今回提案計ではこれらの空間を設計に取り入れていく。



そこで、
現代のニーズを取り入れつつ、「こみせ」と住宅の関係をアップデートすることで、私たちが主体的に関わるまちづくりの第一歩になるのではないかと考えた。

敷地選定条件

- ・ 大規模小売店舗の撤退、郊外型大規模小売店舗の進出により、中心市街地の空洞化や商業力の低下が進行している地域であること
- ・ 総人口が減少している地域であること
- ・ 周辺環境が黒石らしさのある地域であること
- ・ 商業圏の近い住宅地域であること
- ・ モータリゼーション化や大規模の火災によりこみせ通りが衰退していること
- ・ 祭りのメインストリートに面していること

以上の条件より、下図の街区を敷地対象として設定した。



住地基本データ

所在地 〒036-0368
青森県黒石市市ノ町、中町

敷地面積 約 23785 m²

建蔽率 第一種中高層住居専用地域 ... 60%
近隣商業地域 ... 80%

容積率 第一種中高層住居専用地域 ... 200%
近隣商業地域 ... 200%

伝建地区保存地区に指定されており、昔の町並みが残る前町・中町とは対照的に、横町の景観は趣に欠ける。このエリアは空き地が多く存在し、役割を失った「こみせ」と「かくじ」が多数存在する。一方で、駅から1km程度である点や、祭りのメインストリートに面している点で優れており、開発価値の高いエリアと言える。

VI 敷地の現状

【調査結果】

- 調査により、以下のことがわかった。
- ・ 「こみせ」の接続が悪い
 - ・ 空き家と思われる住宅が多数存在する
 - ・ 高齢者が多く住んでいる（年代層の偏り）
 - ・ 建て変わりが起きにくい

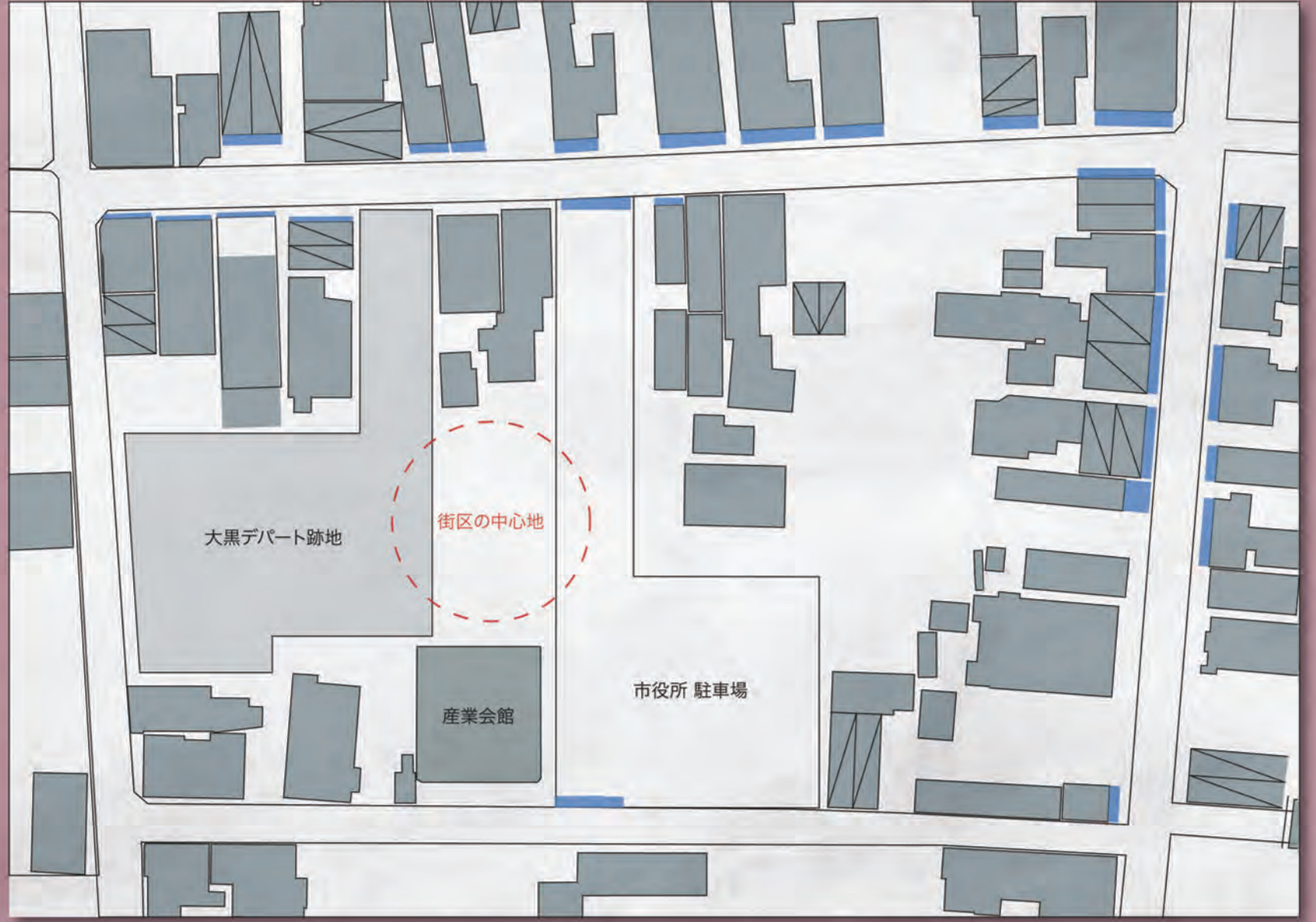
【現在のニーズ】

- ・ 体を動かせる場
- ・ カフェ
- ・ 公園
- ・ 自由に使えるスペース

作品名	熟したまちの育て方	作品番号	2/4
校名	東海大学国際文化学部デザイン文化学科		
氏名	回遊空 高橋龍星		

- ・ 未利用地の活用
- ・ 歴史的資源の活用

参照：黒石市の現状特性と課題



既存こみせ 普通建物 跡地

これらを踏まえ、

「継承し残していくもの」と「改善し残さないもの」を選定した。

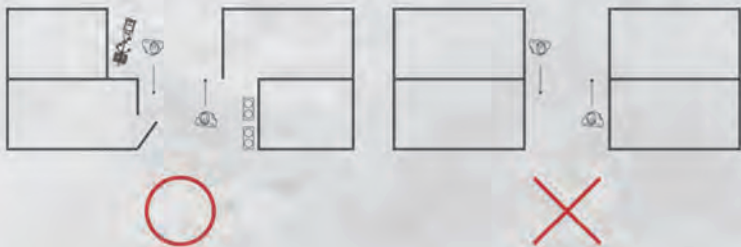
VII 設計材料

本設計において継承するものと改善するものを所調査より選定した。

【継承するもの】

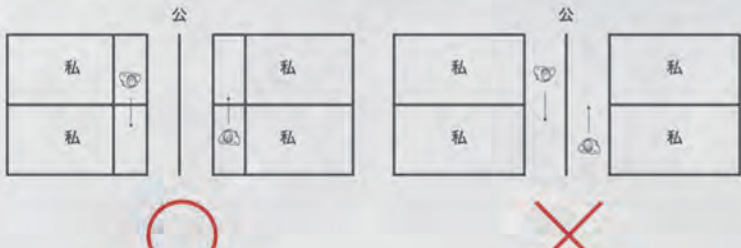
① 溢れ出し・表出

⇒住民が関与できる余白空間、動線の共有することで生活気配や気配を感じることができる



② 共有空間（こみせ）

⇒単純に雨風を遮るだけでなく、住民同士で顔を合わせたり雪よせをしたりする機会を増やす



③ 柔らかい境界

⇒開口を設けたり、あえて木造にしたりすることで内と外の境界が曖昧になる



【改善するもの】

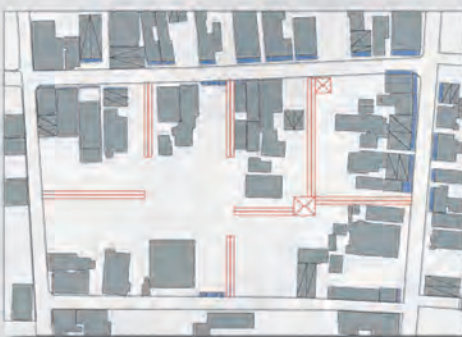
- ① 高密度な建物による採光、通風の悪さ
- ② 現代に合わせたプライバシー確保
- ③ 高密度な建物による防災面の危険さ
- ④ 緑の少なさ

VII 設計手法

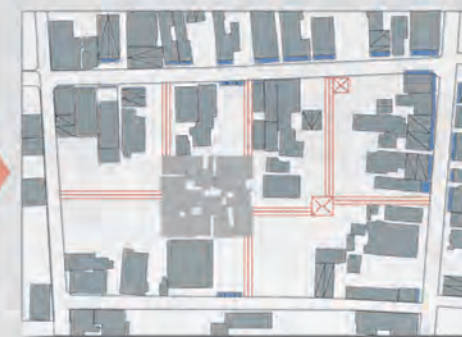
設計材料である継承するものと改善するものに対応した設計手法を提案する。設計手法は大きく分けて街区操作と建物内操作の2種類。

【街区設計ルール】

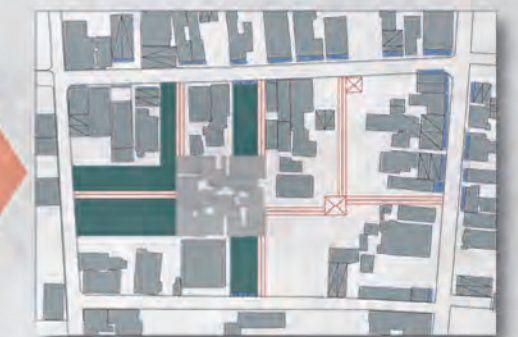
街区内に新たなこみせを張り巡らせることで、表通りのこみせとうまく接続し回廊をつくる



中心地に複合住宅を建てることで、回廊内を歩いていると必ず通るような動線となる

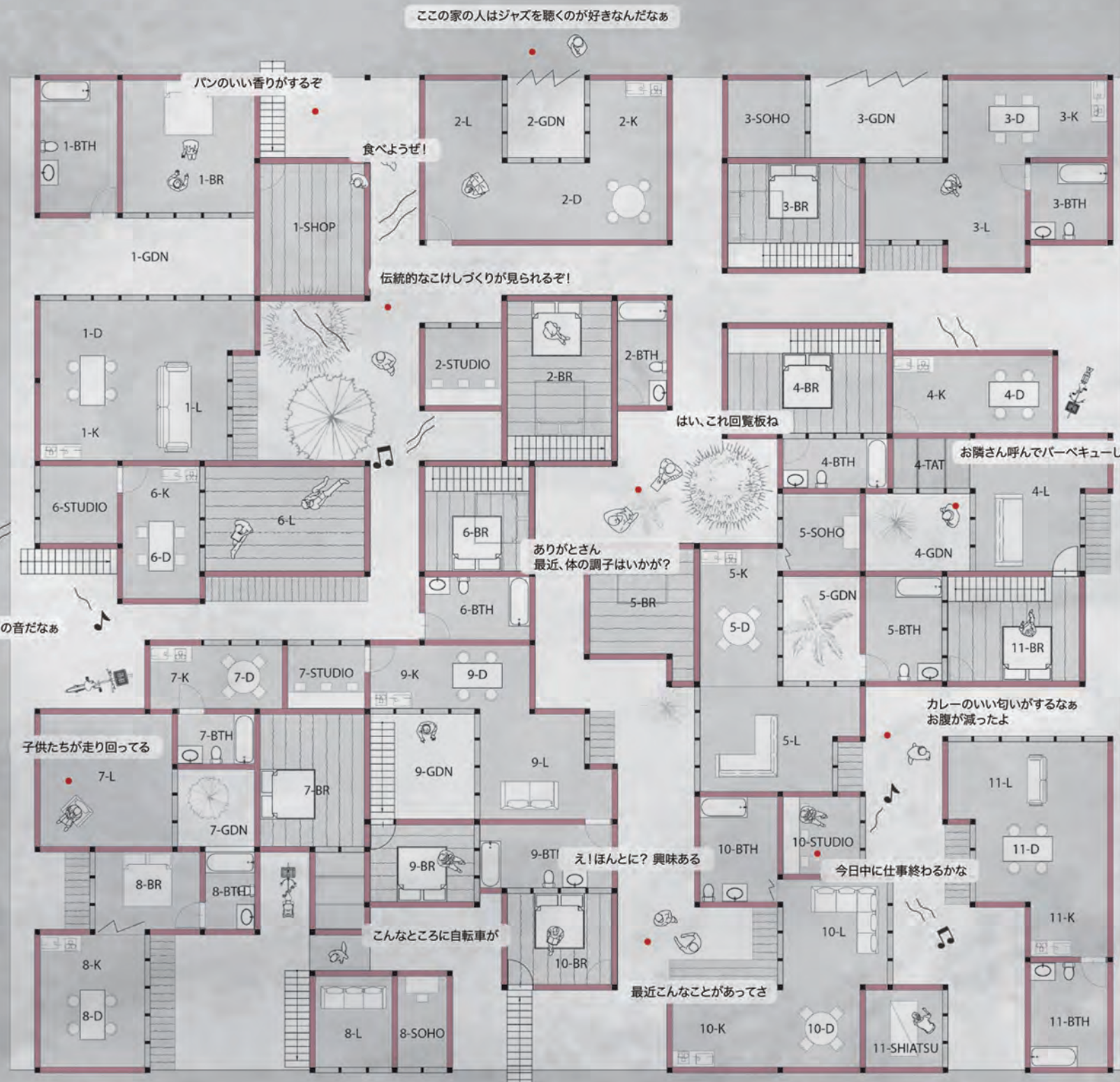


余白を程よく残すことで、住民が自由にアクションを起こせる場ができる



【建物設計ルール】

	バラバラに配置する	住戸間で屋根を共有する	様々な方法で外に開く	緑を配置する
【平面操作】				
【平面操作】	住戸間にスペースをつくることで、様々な居場所が生まれる	隣人と空間を共有する	溢れ出しや表出につながる	近所と繋がった緑地帯が近所とのコミュニティスペースとなる
【断面操作】	様々な角度の屋根、本数の柱にすることで、景色が変化していく		上階になるに従ってセットバックすることで、光・風の通り道をつくる	
【断面操作】	人の溜まり場が増える			最低限のプライバシーを守る
【コミュニティ】				



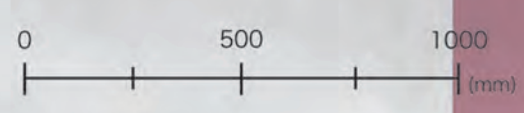
最近こあたり賑わってるなあ

〇〇くん家で遊びたい!

5時までは帰ってきてね~

美しいピアノの音だなあ

子供たちが走り回ってる



- L リビング
- D ダイニング
- K キッチン
- BTH バスルーム
- GDN 庭
- BR ベッドルーム
- SOHO 仕事場
- STUDIO 工房
- SHIATSU 整体所
- TAT 和室

